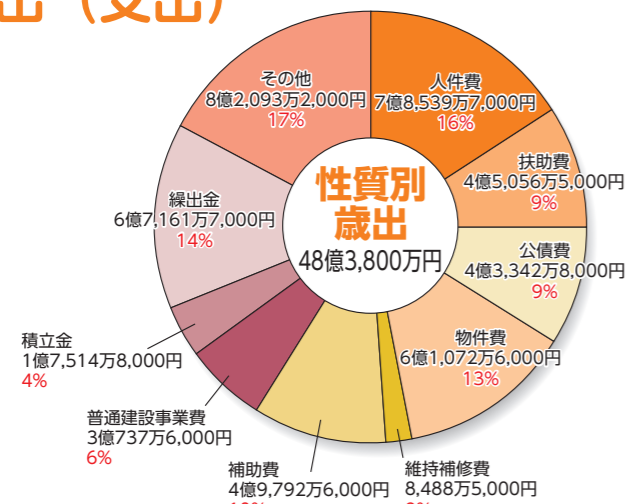


中山町の予算を家計簿に例えると…

2ページでも紹介したとおり、平成25年度の中山町の予算総額は48億3,800万円です。しかし、「予算の概要はだいたい分かったけれど、額が大きすぎてピンとこない…」という方がほとんどだと思います。そこで、中山町の一般会計予算を、5人家族（祖父母、父母、県外で一人暮らしをする子ども1人）で、年間の家計が1,000万円の家庭の家計簿に例え、どんなお金が入ってくるのか、また、お金がどのようなことにどのくらい使われているのか示してみました。

歳出（支出）



豆知識

歳出（支出）は、「性質別」と「目的別」の2通りの方法で表すことができます。目的別分類は、町の経費をその行政目的によって分類します。一方、性質別分類は、経費の性質によって分類します。2ページのグラフでは目的別で表していますが、皆さんの生活に置き換えてイメージしやすいよう、このページでは性質別に分類したグラフを見てみましょう。

中山町の家計簿（支出）

必ず支払わなければならないお金

項目	割合	金額
食費（人件費）	16%	1,600,000円
医療費（扶助費）	9%	900,000円
ローンの返済（公債費）	9%	900,000円
光熱水費、電話代、消耗品費（物件費）	13%	1,300,000円
家や車の維持・修理代（維持補修費）	2%	200,000円
町内会費（補助費）	10%	1,000,000円
家の増改築費（普通建設事業費）	6%	600,000円
貯金（積立金）	4%	400,000円
子どもへの仕送り（繰出金）	14%	1,400,000円
その他（貸付金など）	17%	1,700,000円

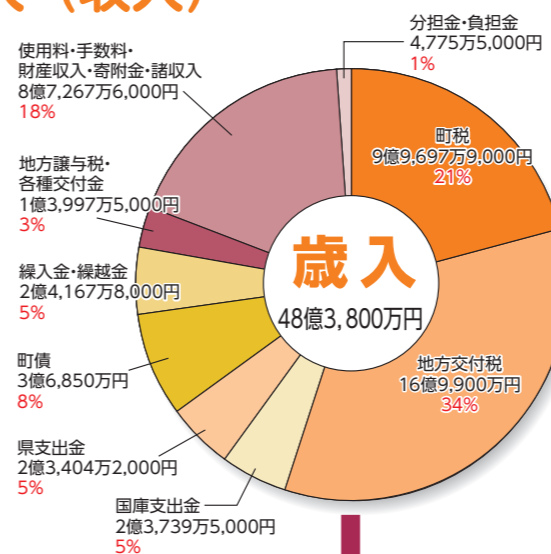
中山町の支出の特徴

毎年必ず支払わなければならない食費、医療費、ローンなどが35%を占めています。また、子どもへの仕送りもある中で、古くなった家の修繕なども行わなければならないかもしれません。子どもには独立してもらいたいものですが、子どもの収入だけでは生活が成り立ちません。

来年以降も医療費などは増えていくものと思われるので、他のところで切り詰める努力をしなければならないようです。

- **繰入金**
積み立てていた基金などを取り崩して使うお金です。
- **繰越金**
前年度余ったお金です。
- **人件費**
町職員、町長、副町長、町議会議員や各委員などの給料や報酬です。
- **扶助費**
生活に困っている方や、高齢者、障がいのある方などの生活を守るためのお金です。
- **公債費**
借りたお金（町債）を返すためのお金です。
- **物件費**
電話、郵送などの通信運搬費や、消耗品などを買うお金です。
- **維持補修費**
町の施設や車の維持・管理に使うお金です。
- **補助費**
事務組合などに対する負担金です。
- **普通建設事業費**
学校や公園、道路など公共施設の建設や整備に使われるお金です。
- **積立金**
中山中学校整備基金など、各種基金への積立金です。
- **繰出金**
特別会計の収入を補うためのお金です。

歳入（収入）



豆知識

Q どうして借金（町債）をするの？

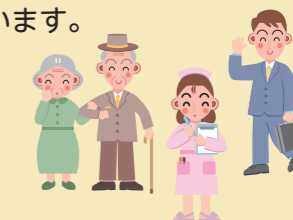
A 借金をする目的は、たくさんのお金を必要とする事業の財源を集めるという目的だけでなく、長期間にわたって利用される施設などの資金負担を、将来の町民にも公平に負担してもらうという目的もあります。

中山町の家計簿（収入）

項目	割合	金額
お父さんのお給料（町税）	21%	2,100,000円
お母さんのお給料（地方交付税）	34%	3,400,000円
おじいちゃんの年金（国庫支出金）	5%	500,000円
おばあちゃんの年金（県支出金）	5%	500,000円
借りるお金（町債）	8%	800,000円
不動産収入（使用料・手数料・財産収入）	18%	1,800,000円
引き出した預金・前年度余ったお金（繰入金・繰越金）	5%	500,000円
その他（地方譲与税・各種交付金等）	4%	400,000円

中山町の収入の特徴

お父さんのお給料だけでは家計が厳しいので、お母さんのお給料、おじいちゃん・おばあちゃんの年金に頼っている状況です。また、上記の収入で不足してしまう分については預金の取り崩しや借金を行っています。



主な用語を説明します

- **歳入編**
町税
中山町に住む人々や、町内に事業所を持つ企業から納めてもらうお金です。中山町の歳入の2割を占める、とても大切な財源です。また、お金の使いみちは町が自由に決めることができ、日常生活に結びついた公共サービスなどに使われています。
- **地方交付税**
市町村には、税の収入が多いところと少ないところがあります。税の収入が少ないからといって、そこに住む住民が十分な行政サービスを受けられないのは困ります。地方交付税は、国が集めた税金を市町村の規模に応じて交付し、税の収入の格差をなくし、日本全国どこでも平等に行政サービスを受けられるようにするためのお金です。お金の使いみちは町が自由に決めることができ、日常生活に結びついた公共サービスなどに使われています。
- **国庫支出金・県支出金**
町が行う事業に対して国や県から交付される、使いみちが決められているお金です。
- **町債**
事業を実施するために、町が銀行などから借り入れるお金、いわゆる借金です。
- **繰入金**
積み立てていた基金などを取り崩して使うお金です。
- **繰越金**
前年度余ったお金です。
- **人件費**
町職員、町長、副町長、町議会議員や各委員などの給料や報酬です。
- **扶助費**
生活に困っている方や、高齢者、障がいのある方などの生活を守るためのお金です。
- **公債費**
借りたお金（町債）を返すためのお金です。
- **物件費**
電話、郵送などの通信運搬費や、消耗品などを買うお金です。
- **維持補修費**
町の施設や車の維持・管理に使うお金です。
- **補助費**
事務組合などに対する負担金です。
- **普通建設事業費**
学校や公園、道路など公共施設の建設や整備に使われるお金です。
- **積立金**
中山中学校整備基金など、各種基金への積立金です。
- **繰出金**
特別会計の収入を補うためのお金です。